

SPEAKER SYSTEM

VXS3SB

VXS3SW

SPEAKER ACCESSORY

CMA3SB

CMA3SW

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manual de instrucciones

Manual do Proprietário

Manuale di istruzioni

Руководство пользователя

使用说明书

取扱説明書

EN

DE

FR

ES

PT

IT

RU

ZH

JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- ・この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- ・不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



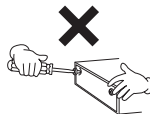
分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐにパワーアンプの電源を切り、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

聴覚障害



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにパワーアンプの電源を切る。

- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



注意

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



禁止

地震など災害が発生した場合は機器に近づかない。

機器が落下して、けがをする原因になります。



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

取り付け工事は、必ず専門の施工会社に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。

- ・この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- ・継続して振動があるような場所は避ける
- ・必ず指定された取り付け工具を使用する
- ・定期的に保守点検を行なう

接続



必ず実行

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

- ・この機器の上に重いものをのせたりしない。
- ・スイッチや入力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

音がひずんだ状態ではこの機器を使用しない。

機器が発熱し、火災の原因になることがあります。



禁止

アンプでクリップが生じるような過大な信号や以下のような音(ノイズ)を入力しない。

- ・マイクロフォン使用時のハウリング音
- ・電子楽器などからの連続した大音量の音
- ・過度にひずんだ連続音
- ・アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ

パワーアンプの出力レベルがこの機器の(プログラム)許容入力レベルより低い場合でも、機器の損傷、故障や火災のおそれがあります。



必ず実行

この機器と組み合わせて使うパワーアンプを選ぶとき、パワーアンプの出力レベルがこの機器の許容入力レベル(取扱説明書参照)以下であることを確認する。

出力レベルが許容入力レベルを超えていると、故障や火災のおそれがあります。

PA-8 1/3

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い/手入れに関する注意

ハイインピーダンス接続時は、60Hz以上のハイパスフィルターを通した信号をスピーカーに入力してください。

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところに設置しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器が変色/変質する原因になります。

お手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。スピーカーを並列接続する場合は、必ずアンプの規定負荷インピーダンスの範囲内(取扱説明書参照)で接続してください。アンプの故障の原因になります。

保護回路について

本製品は、自動復帰型の保護回路を内蔵しています。過大な入力が増えると、保護回路が動作して、音が出なくなります。使用中に音が出

なくなった場合は速やかにアンプの音量を下げてください(数秒～数十秒で自動的に復帰します)。

グリルをはめたままグリルを下にして地面などに置かないでください。グリルが変形する原因となります。

バッフル前面を下にして置く場合は、平らな場所に置いてください。

スピーカーの振動板に触れたり、衝撃を与えないでください。

スピーカー端子を家庭用100V 電源に接続しないでください。

お知らせ

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

廃棄について

この製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

目次

安全上のご注意.....	132
注記(ご使用上の注意).....	134
お知らせ.....	134
目次.....	135
はじめに.....	135
特長.....	135
同梱品.....	136
オプション品.....	136
接続する.....	137
パワーアンプとVXS3Sの接続.....	137
伝送方式と入力ワット数の設定.....	137
サテライト接続.....	138
壁、天井に取り付ける.....	140
スピーカーの取り付け方向について.....	140
事前準備(ケーブルの処理).....	141
天井に埋め込む(CMA3Sを使った取り付け).....	144
塗装する.....	147
グリルの塗装.....	147
スピーカー本体の塗装.....	147
シーリングマウントアダプターの塗装.....	148
アフターサービス.....	149
保証書.....	150
Specifications.....	151
Dimensions.....	152

はじめに

このたびはヤマハスピーカーシステムVXS3SB、VXS3SW(以下VXS3S)をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本製品は、店舗や商業スペースでBGMの再生に使用するサブウーファーです。この取扱説明書では、本製品を施工する方に設置方法を説明しています。また、オプション品のCMA3SB、CMA3SW(以下CMA3S)を使用することで天井に埋め込むことができます。VXS3Sの優れた機能を十分に発揮するために、この取扱説明書を設置の前に必ずお読みください。また、お読みいただいたあとも、大切に保管してください。

特長

ヤマハ独自の*SR-Bass™方式により、小型サイズでありながら驚くほどエネルギー感到満ちたリアルな再生音を実現しています。

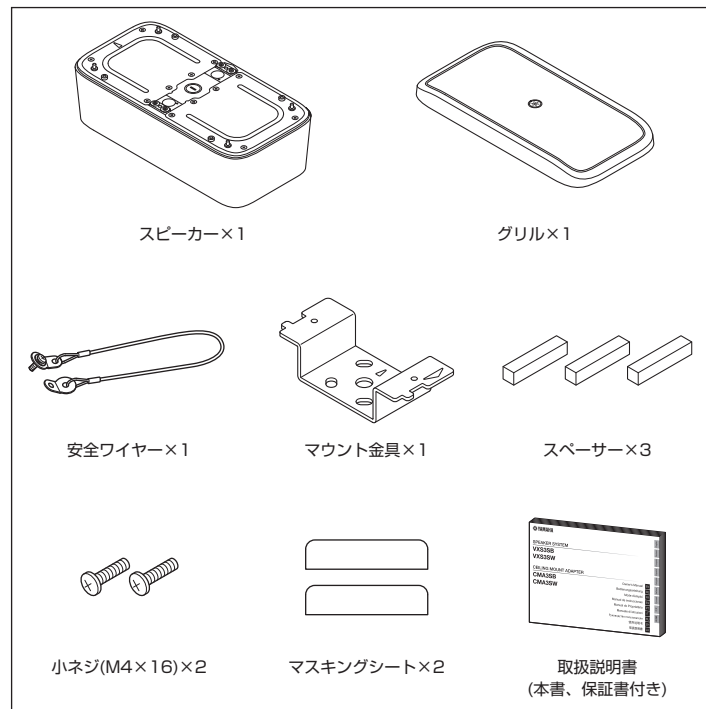
- 1台でローインピーダンス接続とハイインピーダンス接続の両方に対応
- パワーアンプの使用チャンネル数を最小限に抑えて、システム構築に役立つサテライト接続端子を搭載

* SR-Bass™ は、パッシブタイプの振動板技術をさらに進化させ、スピーカーキャビネット内部のエネルギーを効率的に低音域に変換できるヤマハ独自の低音再生技術です。

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

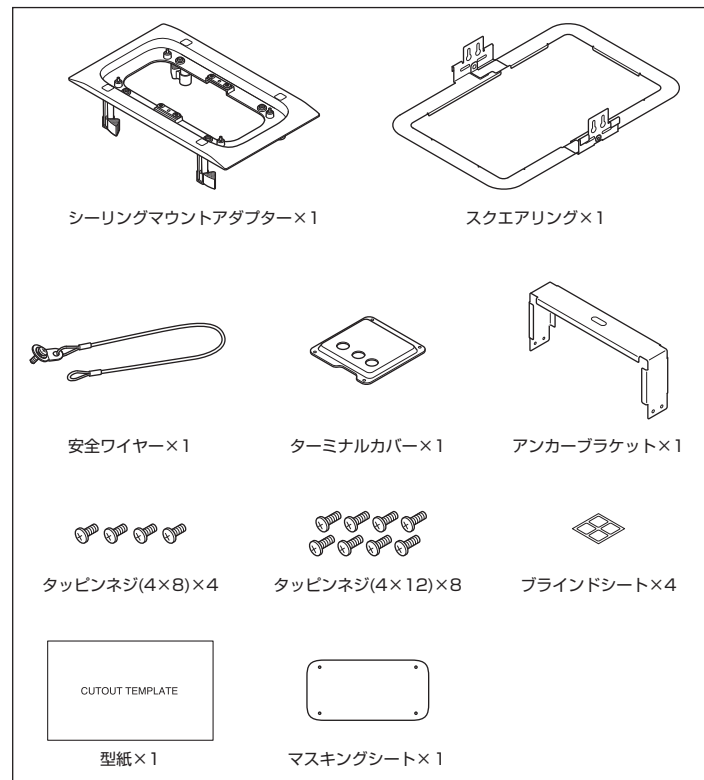
同梱品

VXS3S



オプション品

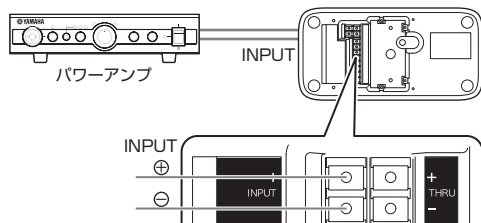
シーリングマウントアダプター CMA3S



接続する

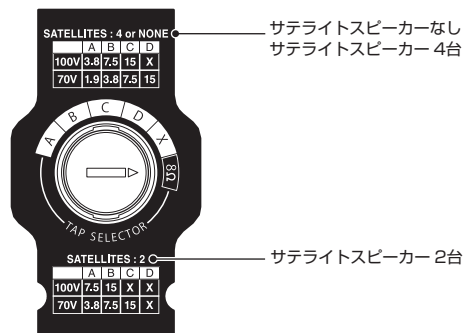
パワーアンプとVXS3Sの接続

パワーアンプのOUTPUTとサブウーファースのINPUTを接続します。



伝送方式と入力ワット数の設定

スピーカー前面にあるタップ選択スイッチをマイナスドライバーなどで回して、伝送方式(100系(100V)/70系(70V)/8Ω)と100系/70系を使用するときの入力ワット数のタップを選んでください。



注記

- ・ハイインピーダンスで接続するときは、サテライトスピーカーの接続数(なし/2台/4台)と出力(W)により、上記のタップ選択スイッチの表記を確認して設定してください。接続するスピーカーの入力ワット数の合計がパワーアンプの出力を超えないように設定してください。
- ・Xには合わせないでください。
- ・ローインピーダンスで接続するときは、タップ選択スイッチを8Ωに設定してください。

設定を間違えるとスピーカーやパワーアンプが故障する原因になります。

- ・タップ選択スイッチを操作するときは、パワーアンプの電源を切ってから作業してください。

サテライト接続

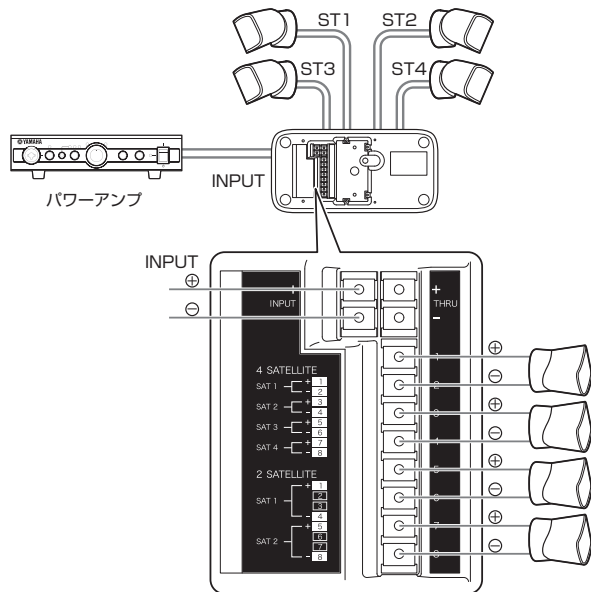
本製品はサテライトスピーカー用の出力端子を装備しています。サテライト端子を使用して、フルレンジのスピーカーを中高域用スピーカーとして使用できます。

NOTE

- ・ サテライトスピーカーは 2 台、4 台での使用をおすすめします。
- ・ サテライトスピーカーを 2 台、4 台で接続したシステムを混合して使用した場合、音量差が生じる場合がありますので、ご注意ください。

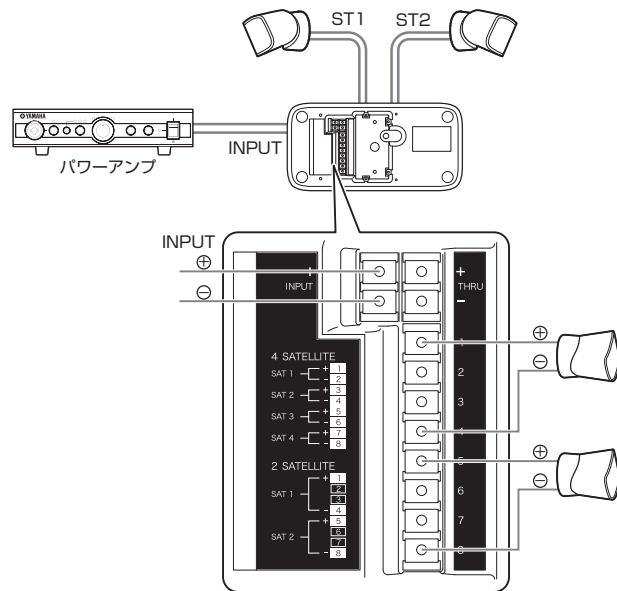
■VXS3S + VXS1ML(4 台) ローインピーダンス接続

基本システムです。



■VXS3S + VXS1ML(2 台) ローインピーダンス接続

サテライトスピーカーを2台だけ接続する場合は、下記のように接続してください。

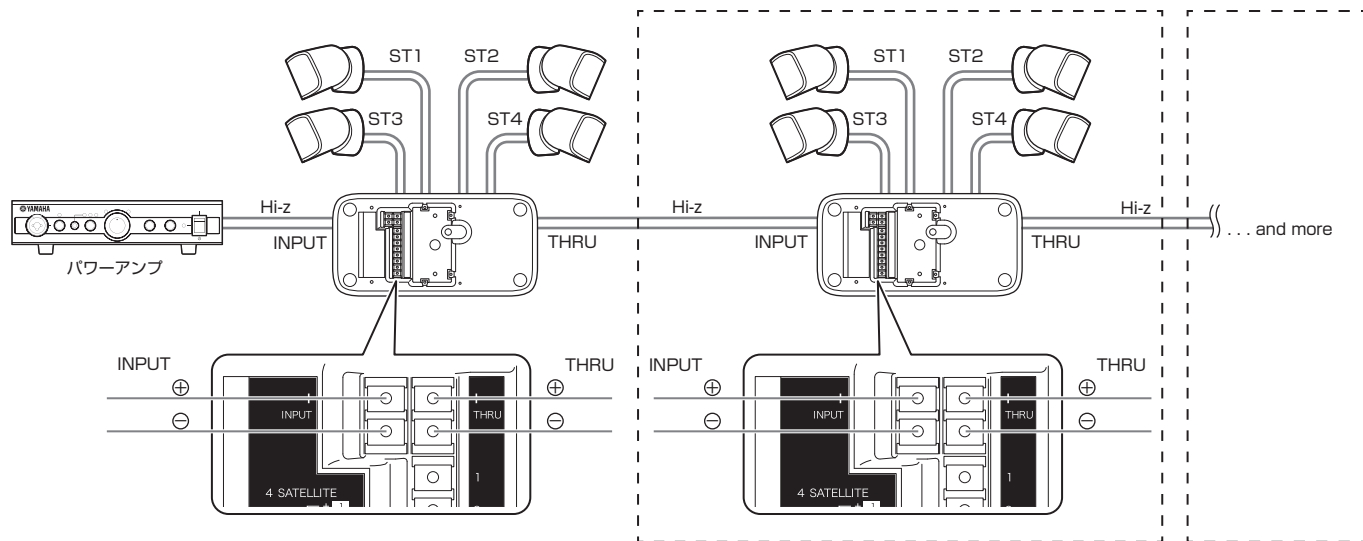


注記

ローインピーダンスでのサテライト接続の場合、合成インピーダンスは 4 Ω (サテライトスピーカー 4 台の場合) または 3.5 Ω (サテライトスピーカー 2 台の場合) です。ご使用になるパワーアンプが対応していることを確認してください。対応していないアンプをご使用になるとアンプの故障の原因となります。

■VXS3S + VXS1ML ハイインピーダンス接続

サブウーファーでハイインピーダンス接続をする場合のシステム例です。また、1つのアンプチャンネルに複数のサテライトシステムを接続できます。VXS3Sのタップ切り替えは、選択スイッチの表記を参考に、サテライトスピーカーの接続数(なし/2台/4台)と出力(W)に応じて設定してください。詳細は137ページをご参照ください。



注記

・ハイインピーダンス接続のときは、パワーアンプの定格出力が接続するスピーカーの入力ワット数の合計を上回るようにしてください。

詳細については、以下の URL にあるハイインピーダンス接続の説明をご参照ください。

ヤマハプロオーディオサイト「商業空間のよりよい音作り」

http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/training_support/better_sound/

・スピーカーの取り付け作業は、パワーアンプの電源を切ってから作業してください。

・ハイインピーダンス接続時は、60Hz 以上のハイパスフィルターを通した信号をスピーカーに入力してください。

壁、天井に取り付ける

付属のマウント金具を使って、壁や天井にスピーカーを取り付けます。
取り付ける場所にスピーカーの重さに耐えられる強度があることを確認してから、取り付けを行なってください。

注記

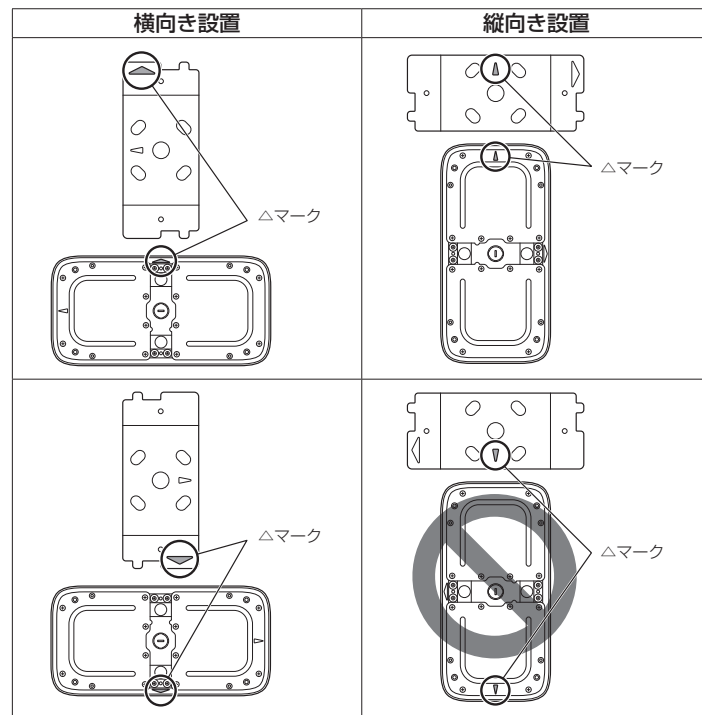
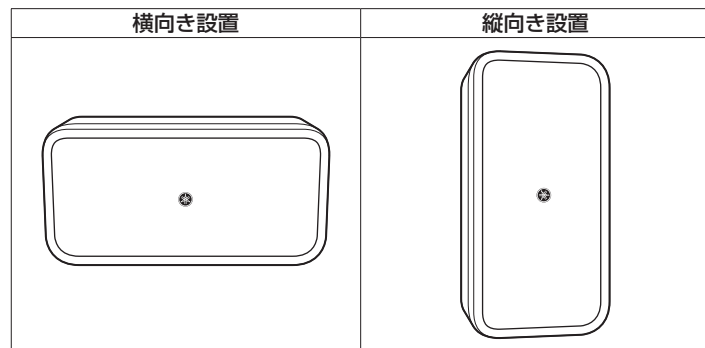
スピーカーの取り付け作業は、パワーアンプの電源を切ってから作業してください。

NOTE

スピーカーを塗装する場合は、147 ページの「塗装する」をお読みください。

スピーカーの取り付け方向について

マウント金具についている△マークとスピーカーについている△マークの向きを合わせて取り付けを行なってください。



⚠ 注意

縦向き設置を行なう際に、△マークの向きを下方方向に向けたままマウント金具を設置し、スピーカーをはめると仮固定ができず、落下するおそれがあります。△マークが下向きの状態でスピーカーを取り付けないでください。

事前準備(ケーブルの処理)

使用するケーブルは、図のようにむき出して配線してください。



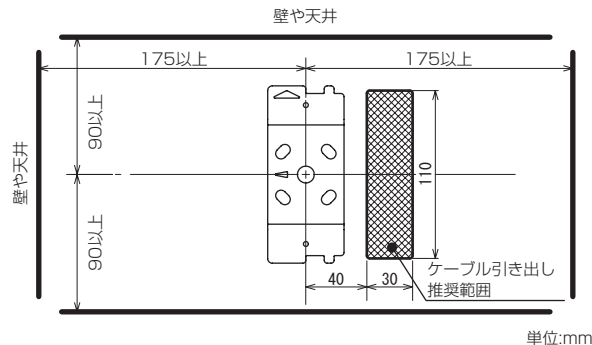
NOTE

- ・断線の原因となりますので、より線を使用する場合は、はんだめっきしないでください。
- ・スピーカーを取り付ける前に、設置場所までスピーカーケーブルを這わせてください。

1 マウント金具を壁や天井に取り付ける

1-1 スピーカーの取り付け位置を決めます。

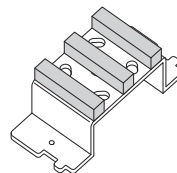
1-2 下図を参考にマウント金具の取り付け位置とケーブル引き出し位置を決めます。



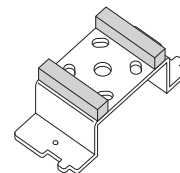
単位:mm

1-3 壁とスピーカーの間にすき間を作りたいときは、スペーサーをマウント金具に貼り付けます。

4か所固定の場合



1か所(中央)固定の場合



1-4 壁や天井にマウント金具を取り付けます。

4か所の長穴はM6ネジ用、中央の穴径はφ11mmです。

1-5 壁や天井からケーブルを引き出します。

2 安全ワイヤーを取り付ける

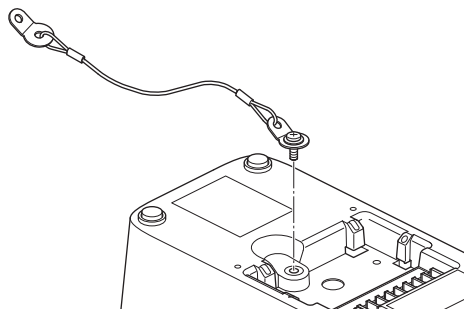
2-1 安全ワイヤーを壁や天井に取り付けます。

⚠ 注意

- ・付属の安全ワイヤーをご使用ください。
- ・安全ワイヤーはスピーカーよりも高い位置にあまりたるみがないように取り付けてください。
- ・付属の安全ワイヤーで長さが足りない場合は、スピーカーの重さや設置状況を考慮して適切な長さや強度のものをご用意ください。

2-2 安全ワイヤーをスピーカーに取り付けます。

このとき、安全ワイヤーの金具の向きを溝に合わせて取り付けようようにしてください。



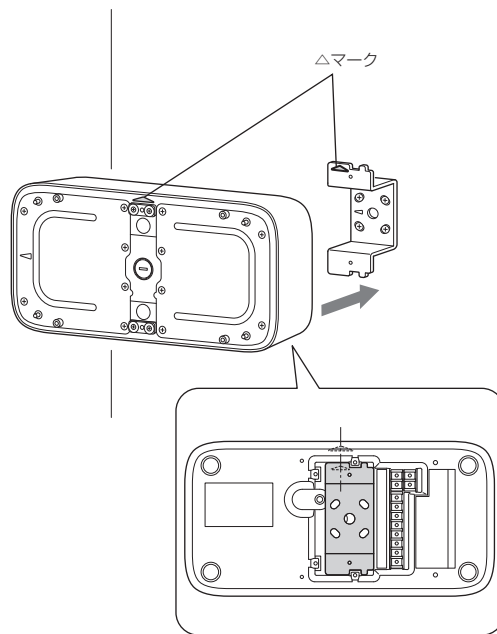
3 結線をする

3-1 バリアストリップ端子のネジをプラスドライバーでゆるめたあと、結線部にケーブルを差し込み、端子のネジをしっかりと締め付けます。結線については、137ページの「接続する」をご参照ください。ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

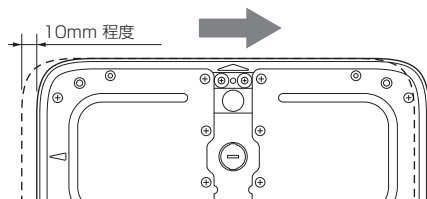
4 スピーカーをマウント金具に固定する

4-1 グリルを取り外します。

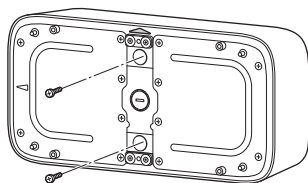
4-2 マウント金具の△マークとスピーカーの△マークの向きを合わせてはめ込みます。



4-3 スピーカーを 10mm 程度ロックする方向へスライドさせて仮固定します。



4-4 付属のネジで固定します。

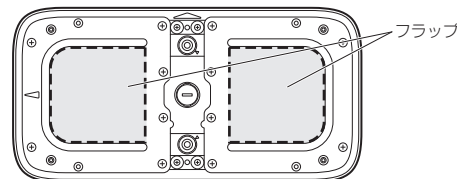


⚠ 注意

ネジ止めを必ず行なってください。

注記

スピーカーを取り付けるときは、フラップ部分を触ったり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。フラップ部がくぼむと、音がひずむ原因になります。



5 伝送方式と入力ワット数を設定する

5-1 伝送方式(100系(100V)/70系(70V)/8Ω)と100系/70系を使用するときの入力ワット数を設定します。詳細は137ページをご参照ください。

6 グリルをはめる

6-1 キャビネット前面にグリルを合わせて、はめ込みます。

⚠ 注意

グリルの取り付け位置がずれていると、設置後にグリルが落下するおそれがあります。

天井に埋め込む(CMA3S を使った取り付け)

VXS3Sは別売りのシーリングマウントアダプターを使って天井に埋め込んだ設置ができます。

1 天井に穴を開ける

- 1-1 付属の型紙(350mm×210mm)を天井にあて、開口のための線を描きます。

NOTE

開口部のサイズが合わないときスピーカーが取り付けられなくなるため、必ず付属の型紙を使用してください。

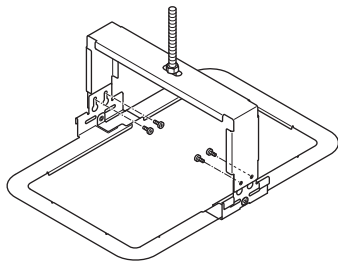
- 1-2 線に沿って穴を開けます。

穴を開ける際に、破片や粉などが目に入らないようにご注意ください。

2 スクエアリングとアンカーブラケットを天井裏に設置する

- 2-1 スクエアリングを天井裏に入れて置きます。

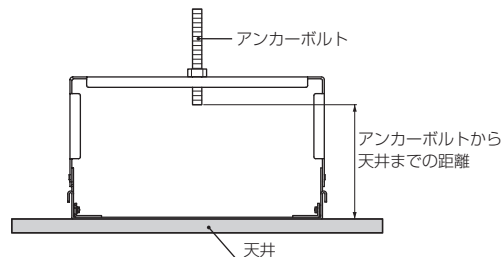
- 2-2 アンカーブラケットに付属のネジを仮留めします。ここで仮留めしておくと、固定しやすくなります。ネジ頭とアンカーブラケットの間に 2mm 程度のすき間をあけてください。



- 2-3 イラストのようにアンカーボルトとアンカーブラケットとスクエアリングを固定します。

NOTE

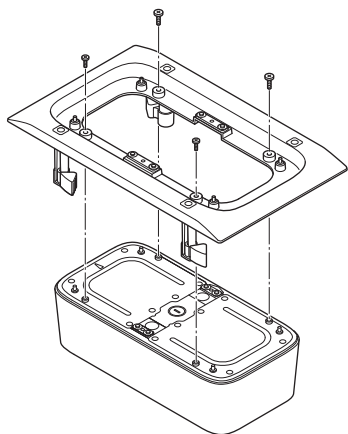
- アンカーボルトはφ 10mm のものを使用してください。
- アンカーボルトから天井までの距離は 120mm ± 5mm になるようにしてください。



3 スピーカーにシーリングマウントアダプターを取り付ける

3-1 グリルを取り外します。

3-2 シーリングマウントアダプターをスピーカーにはめ込み、四隅を付属のネジで固定します。



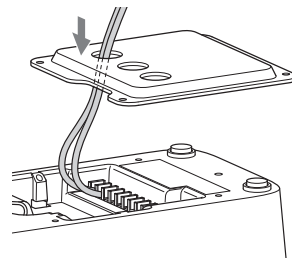
4 安全ワイヤーを取り付ける

4-1 141 ページの手順 2 をご参照ください。
CMA3S 付属のワイヤーを使用してください。

5 結線する

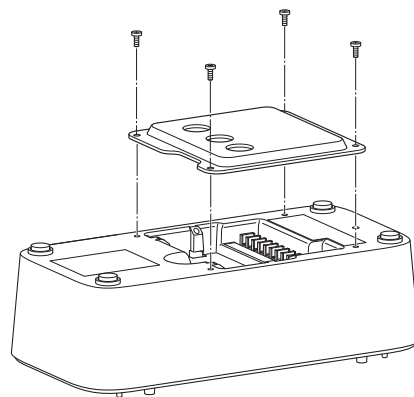
5-1 ケーブルを天井の開口部から引き出します。

5-2 ターミナルカバーにケーブルを通します。



5-3 バリアストリップ端子のネジをプラスドライバーでゆるめたあと、結線部にケーブルを差し込み、端子のネジをしっかりと締め付けます。結線については、「接続する」(137ページ)をご参照ください。ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

5-4 ネジを締めて、ターミナルカバーを取り付けます。

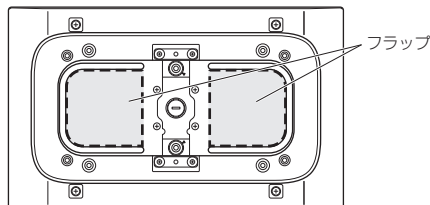


6 天井に固定する

- 6-1 天井とスピーカーでケーブルを挟まないようにゆっくりとスピーカー本体を天井に押し上げます。

注記

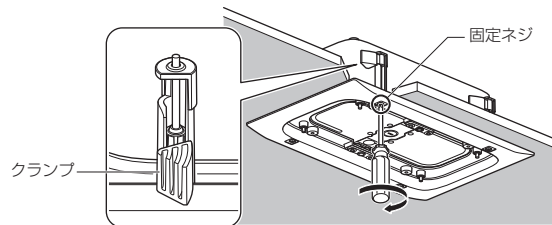
スピーカーを取り付けるときは、フラップ部分を触ったり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。フラップ部がくぼむと、音がひずむ原因になります。



- 6-2 スピーカーを少し上に持ち上げながら、プラスドライバーを時計周りに回して固定ネジを締めます。最初の回転でクランプが開きます。ネジを回すごとにクランプが下がり、天井を押さえ込みます。

NOTE

クランプが開きにくい場合、いったん反時計回りに半周回すと開きやすくなります。



⚠ 注意

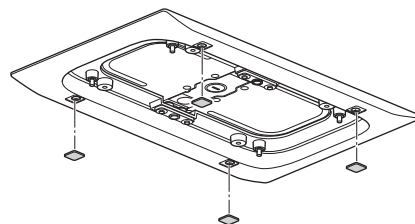
- ネジ切れの原因になりますので、固定ネジを締めすぎないでください。
- 固定ネジ以外を回さないでください。スピーカーの落下や故障の原因となります。

7 伝送方式と入力ワット数を設定する

- 7-1 137 ページをご参照ください。

8 目隠しシートを貼る

- 8-1 付属のブラインドシートをネジ穴に貼ります。



9 グリルをはめる

- 9-1 キャビネット前面にグリルを合わせて、はめ込みます。

⚠ 注意

グリルの取り付け位置がずれていると、設置後にグリルが落下するおそれがあります。

塗装する

VXS3S本体の塗装にはアクリル系ラッカー塗料を推奨します。塗装方法については塗料の使用方法に従ってください。

⚠ 注意

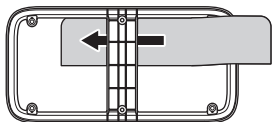
作業中、換気には十分ご注意ください。

注記

- 揮発性溶剤を使用する場合、火気には十分ご注意ください。火災や事故の原因になることがあります。
- 塗料によりスピーカーにダメージが生じた場合の保証はいたしかねます。

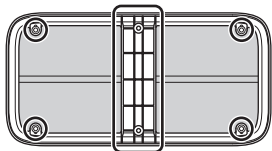
グリルの塗装

- 1 グリルを傷つけないように注意してスピーカーから取り外します。
- 2 グリル表面のエンブレムを取り外します。
エンブレムは粘着テープで固定されています。
- 3 グリル裏側と棧の間に付属のマスキングシートを滑り込ませるようにして入れます。

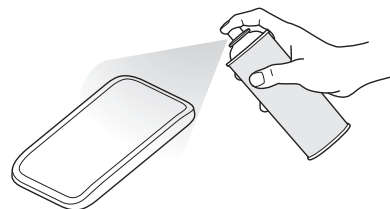


NOTE

下図の箇所が必ずカバーされていることを確認してください。



- 4 塗料をグリルに噴きかけます。



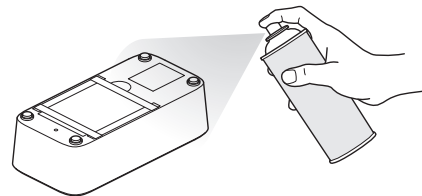
NOTE

グリルの穴が塗料で塞がらないようにしてください。
穴が塗料で塞がれると音質が低下する原因になります。

- 5 塗装が完全に乾いたら、マスキングシートをはずし、エンブレムをグリルに取り付けます。
エンブレムの向きは、正位置になるように取り付けてください。
- 6 グリルをスピーカーに取り付けなおします。

スピーカー本体の塗装

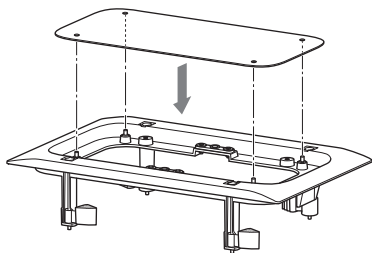
- 1 塗装の前に本体の汚れをふき取ります。
やすりがけはしないでください。
- 2 スプレー式塗料で本体を塗装します。
バッフル、接続端子に塗料がかからないように、マスキングなどをしてください。



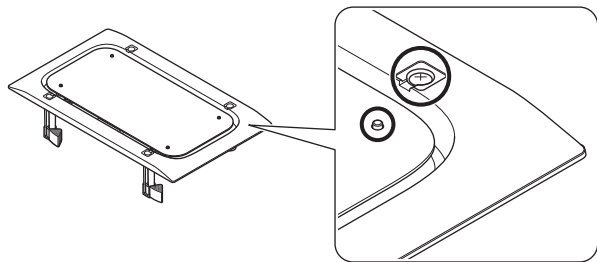
- 3 塗装が完全に乾くまで乾燥させます。

シーリングマウントアダプターの塗装

- 1 塗装の前にシーリングマウントアダプターの汚れをふき取ります。
やすりがけしないでください。
- 2 付属のマスキングシートをシーリングマウントアダプターのボスに
合わせてはめ込みます。



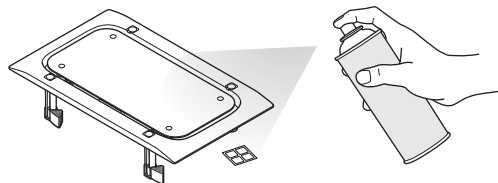
- 3 ボスの先端とネジ頭をマスキングテープなどを使ってカバーしてく
ださい(計8箇所)。



NOTE

そのほか必要に応じて、マスキングテープなどを併用してください。

- 4 塗料をシーリングマウントアダプターと付属のブラインドシートに
噴きかけます。



- 5 塗装が完全に乾いたら、マスキングシートをはずします。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付 月曜日～金曜日11:00～18:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX **03-5652-3634**

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

受付 月曜日～金曜日10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX **03-5762-2125**

東日本 (北海道/東北/関東/甲信越/東海)

06-6649-9340

西日本 (北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17ナンバ辻本ニッセビル7F

FAX 06-6649-9340

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12KDX箱崎ビル1F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。

お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品などについては、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

ASCAMIPAMPPCA8

VXS3SB/VXS3SW/CMA3SB/CMA3SW 取扱説明書

持込修理

※品名			
※品番			
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から 1 年	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div>		
	ご住所 お名前 電話 () 様		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
 お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 ご依頼の際は、購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）をあわせてご提示ください。

（詳細は下項をご覧ください）

※販売店名	印
所在地	
店電話	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

〒103-0015
 東京都中央区日本橋箱崎町 41 番 12 号 KDX 箱崎ビル 1F
 TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内で多次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

- * この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
 - * ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
- ※その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Specifications

Model		VXS3SB	VXS3SW			
Type		SR-Bass™ type Subwoofer				
Component		3.5" (9cm) Cone				
Nominal impedance		Lo-Z: 8Ω				
		Hi-Z:				
		4 Satellites or None				
			15W	7.5W	3.8W	1.9W
		100V	670Ω	1.3kΩ	2.7kΩ	-
		70V	330Ω	670Ω	1.3kΩ	2.7kΩ
		2 Satellites				
			15W	7.5W	3.8W	
		100V	1.3kΩ	2.7kΩ	-	
		70V	670Ω	1.3kΩ	2.7kΩ	
Satellite impedance		8Ω (Load per satellite output recommended)				
Power rating	NOISE	20W				
	PGM	40W				
	MAX	80W				
Sensitivity (1W, 1m)*1		79dB SPL				
Maximum SPL (Calculated, 1m)*2		98dB SPL				
Frequency range (-10dB)		65Hz - 180Hz				
Connector		TERMINAL BLOCKS(4pin) Input: +/-, Loop-thru: +/- TERMINAL BLOCKS(8pin) Satellite output: +/- (ST1~ST4) Max. wire size AWG 12(3.5sq)				
Transformer	70V line	15W, 7.5W, 3.8W, 1.9W				
Taps	100V line	15W, 7.5W, 3.8W				
Overload protection		Full-range power limiting to protecting network and transducers				

Model		VXS3SB	VXS3SW
Magnetically shielded		No	
Enclosure	Cabinet Material	ABS (V-0) 5mm Black	ABS (V-0) 5mm White
	Baffle Material	ABS (V-0) 3.5mm Black	
Grille	Material	Powder coated perforated steel (t=0.6mm) Grille Frame: ABS (V-0)	
	Finish	Black painting (approximate value: Munsell N3)	White painting (approximate value: Munsell N9)
	Aperture ratio	55%	55%
Dimension (Speaker only)		W322 × H162 × D118mm (12 5/8" × 6 3/8" × 4 5/8")	
Net Weight (Speaker only)		2.7 kg (6.0 lbs)	
Packaging		Packaged in 1pc	

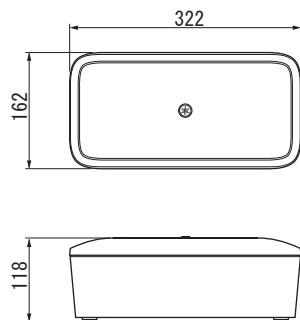
*1 : Full-space (4π)

*2 : Calculated based on power rating and sensitivity, exclusive of power compression.

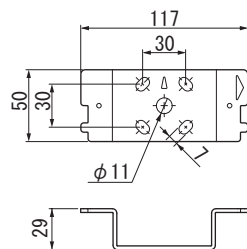
Model	CMA3SB	CMA3SW
Enclosure	ABS (V-0) 3.0mm Black	ABS (V-0) 3.0mm White
Dimensions (Adapter only)	W386 × D233 × H90mm (15 1/4" × 9 1/4" × 3 1/2")	
Net Weight	0.44 kg (0.97 lbs)	
Cutout size	350mm × 210mm (13 3/4" × 8 1/4")	

Dimensions

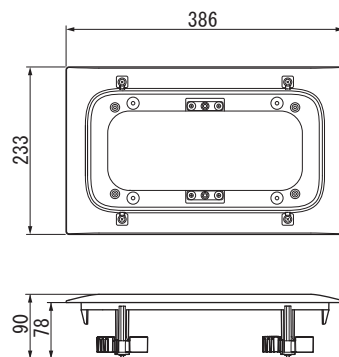
VXS3SB/VXS3SW



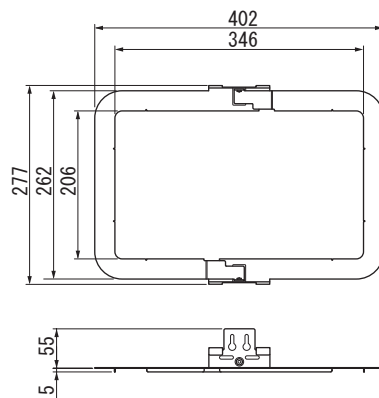
■ WALL BRACKET



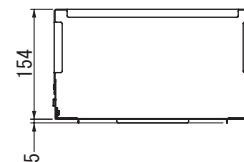
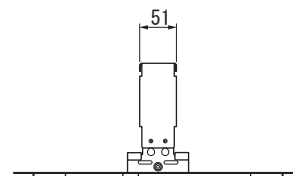
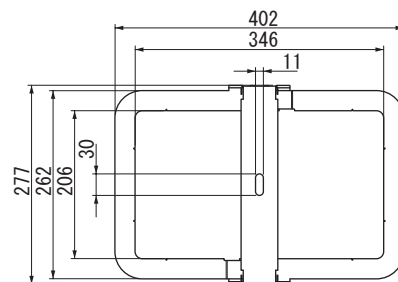
CMA3SB/CMA3SW (OPTION)



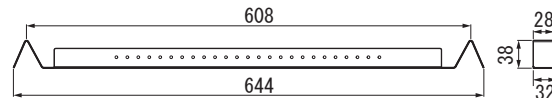
■ SQUARE RING



■ ANCHOR BRACKET AND SQUARE RING



■ TILE RAIL



Unit: mm

雅马哈乐器音响(中国)投资有限公司

上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<http://www.yamaha.com.cn>

制造商：雅马哈株式会社

制造商地址：日本静冈县滨松市中区中泽町10-1

进口商：雅马哈乐器音响(中国)投资有限公司

进口商地址：上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

原产地：印度尼西亚

Yamaha Pro Audio global website
<http://www.yamahaproaudio.com/>

Yamaha Downloads
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2017 Yamaha Corporation

Published 06/2017 改版 CRZC-C0
Printed in Indonesia

ZW72160